

今日から始まった思い出の写真展 8日～10日 3日間
毎日午前9時30分～午後3時30分

5月8日から10日までの3日間、午前9時30分から午後3時30分まで、福祉の里センターの野外ステージと広場を借りて、主に大船渡町から探し出した写真等を展示している。

あなたや知人の写真があると思います。ご多忙中とは思いますが、ぜひ、福祉の里までお出で下さい。

なお、YSセンター（福祉の里内）の玄関にも社協ボランティアの方々が綺麗にしたアルバムを置いているので、こちらにも寄って見てください。

思い出の 写真を探そう

5月8日～10日の3日間
福祉の里の野外ステージに展示
知人へお知らせ願います

大船渡町に「思い出ハウス」

大船渡町老人センター近くに「思い出ハウス」との名称で、プレハブの建物があり、その中にも沢山の思い出の品々があるので、被災された方は見てください。

探して下さい 見つけて下さい



福祉の里センターの野外ステージでの写真展、開始と同時に多くの方々が訪れ、思い出の写真を探している。

友人の結婚式の写真を見つけて、早速電話している方もあった。

ぜひ、多くの方に見て頂きたい、お願いします。

まちの保健室

サンリアで保健指導

5月7日、ショッピングセンターサンリア1階で、けせん・まちの保健室の方々が、訪れる方々の血圧測定等を行っていた。

市日の日は多くの方々が訪れるが、今日は少ないと言うので、我々も血圧を測って頂き、正常との太鼓判を押して頂き、安心した。



遠くからボランティア 写真の修復に挑戦！

5月7日、思い出写真の修復作業のために大船渡市災害ボランティアセンターから派遣された3人は、1週間東和町の廃校を基地に宿泊し、大船渡市へボランティアに来ている方々でした。

3人の先生方に昼食時間、ボランティアに来た感想等を書いて頂いたので紹介します。

鹿児島県徳之島町から来た 鹿児島高教組 榎本久則さん

連合ボランティアで鹿児島の徳之島から参加しました。写真を洗浄して出来るだけきれいにしたつもりです。中にはかなり古い写真もあり、写真のひとつ一つから家族を想像しました。被災された方々の1日も早い復興を切に願います。ここで得た体験を郷里に帰ったあとに、子ども達にも話そうと思います。人の優しさがこれからも続きますように。



手伝い出来て良かったです。「朝の来ない夜はない」と言います。遠く奈良から大船渡の皆さんが元気な街を再興して下さることを祈り、見守っていきます。いつか、この町に戻って皆さんにお会いできたらと思います。その日まで……。この後も私たちの仲間がずっとボランティアでやって来ます。

広島県三原市から来た 亀山弘道さん

5月2日～9日まで大船渡でボランティアしました。テレビでは知っている、分かっているつもりの被災地の状態は、その知識をはるかに越えるものでした。×印を目にするたびに、胸が痛みました。出会う皆さんからは、被災の影を見てとれませんでした。私たちに話される方々、皆、気をしっかりと持ち立ち向かっていらっしやる様でした。実際は一人になられた時、どんな思いなんだろうと・・・心が痛みました。私は日本教職員組合（日教組）の一員として仲間に支援されながら、被災地の支援に来ました。これからも長く続けて仲間が来ます。子どもたちが泣かずに復興がすすむことを願っています。

奈良市から来た 県立高田高校の小南正紀さん

奈良からボランティアでやってまいりました。せめて思い出の写真だけはという思いで写真を洗いましたが、塩水は非常なもので、顔や風景も消えるのが残念でなりません。でも、写っている写真は笑顔がいっぱいで、素敵なものでした。少しの時間でしたがお

